

会議報告

平成20年度動物衛生試験研究推進会議の概要

平成20年度動物衛生試験研究推進会議が平成21年2月19日(木)に動物衛生研究所本所講堂において開催されました。参集者所属(人数)は以下の通りです。

社団法人畜産技術協会(外部委員；1)、麻布大学獣医学部(外部委員；1)、農林水産省技術会議事務局(1)、農林水産省消費・安全局(2)、農林水産省経営局(1)、農林水産省動物検疫所(1)、農林水産省動物医薬品検査所(2)、農業・食品産業技術総合研究機構(1)、中央農業総合研究センター(1)、畜産草地研究所(2)、食品総合研究所(1)、東北農業研究センター(1)、近畿中国四国農業研究センター(1)、九州沖縄農業研究センター(1)、農業生物資源研究所(1)、家畜改良センター(1)、農林水産消費安全技術センター(1)、北海道立畜産試験場(1)、栃木県中央家畜保健衛生所(2)、群馬県家畜衛生研究所(1)、岡山県岡山家畜保健衛生所(1)、島根県農林水産部(2)、沖縄県家畜衛生試験場(2)、動物衛生研究所(32)。以上61名。

1. 動物衛生研究をめぐる情勢

動物衛生研究所企画管理部長から、国内外の家畜疾病発生の動向をもとにした動物衛生研究の取り組みを説明しました。また、これからの動物衛生研究の推進方策についての説明がありました。

2. 今年度の研究成果と次年度の研究推進方向

動物衛生研究所の各研究チーム担当の研究管理監・センター長の進行の下で、それぞれの研究チーム長が人獣感染症研究、ウイルス病研究、国際

重要感染症研究、プリオン病研究、細菌・寄生虫病研究、ヨーネ病研究、次世代製剤開発、環境性・常在性疾病研究、疫学研究、生産病研究、安全性研究における本年度の研究成果、次年度の推進方向を説明し、討論が行われました。

3. 動物衛生研究の重点推進方向

「生産性を阻害する重要慢性ウイルス性感染症に対する新技術を用いたワクチン開発及び清浄化技術の開発」についてウイルス病研究チーム長から、「抗生物質に替わるサイトカインを用いた乳房炎治療技術の確立」について生産病研究チーム長から内容の説明がありました。

4. 主要研究成果の検討、評価、採択

動物衛生研究所の各研究チーム担当の研究管理監・センター長の進行により、担当研究チーム長が26課題の主要研究成果候補課題について報告し、質疑と評価を行いました。一部の課題については成果情報名、分類、本文等の修正を条件に修正案を総括推進会議に提案することになりました。

5. 連携・協力に関する事項(他機関からの要望事項)

農林水産省消費・安全局動物衛生課、農林水産省消費・安全局畜産安全管理課から出された要望事項に対し、動物衛生研究所から担当管理監が対応方針の概要を説明し、関連討議を経て対応方針が了承されました。(企画チーム)